

平成 29 年度第 1 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 29 年 4 月 3 日（月）13:00～13:15
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 平成 29 年度 職員行動指針「五つの心得」及びコンプライアンスに関する放送について

●安井課長【企画課】（資料 1 に基づき説明）

平成 29 年度も引き続き庁内放送を行う。放送担当者及び放送内容は昨年度と同様、知事、副知事、危機管理統括監及び部局長に、「五つの心得」又はコンプライアンスに関連した、成果につながった又は見聞きした具体的な事例を 2 分程度で語っていただく。放送日時は、毎週火曜日に変更する。引き続き、庁内放送へのご協力をお願いします。

平成 29 年度の取組にあたり、職員アンケートを実施し対応を検討したところ、認知、理解は進んでいるものの実践が十分でないこと、クレドカードや庁内放送について認知、理解等に一定の効果があることがわかった。また、既存取組の改善や新たな取組の必要性については 2～3 割の人が必要ありと回答しており、こうした意見をふまえ放送日時を変更した。

平成 29 年度の取組については、既存の取組に加え、パソコン起動時に「五つの心得」の内容を画面に表示する新たな仕組みを関係課と調整しており、調整でき次第、取り組んでいく。

（質疑等なし）

議題 2 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●西城部長【戦略企画部】（資料 2 に基づき説明）

3 月 1 6 日及び 4 月 3 日付けの県 Web（ウェブ）公表分については、県民の声の件数は 3 6 件で、県の対応件数は 3 9 件であった。

職員に関するものとして、職員の勤務、行動等についての苦情が 2 件寄せられている。また、県民の声を受けて実施した案件で、業務の改善等へ反映したのものとして、観光地での対応についての苦情への対応があった。

次に、平成 2 8 年度「県民の声を受けて」の年間概要について、全体では県民の声の件数は 4 8 8 件で、県の対応件数は 5 8 2 件となっている。対応件数としては、平成 2 7 年度と比べて、2 0 0 件ほど減少している。これは、伊勢志摩サミットや庁舎内禁煙に関する意見など 2 8 年度特有の声をいただいた一方、2 7 年度のクマの放獣に関する意見のように極端に多いもの等がなかったことが要因と思われる。

県民の声への対応については、今年度も引き続き、政策会議の場において報告をさせてい

ただくので、各部局におかれては県民の皆さんからの提案・意見、苦情、要望などの声をしっかり受け止め、対応していただきたい。

(質疑等なし)

議題3 春期「緑の募金」活動への協力依頼について

●岡村農林水産部長（資料3に基づき説明）

緑の募金活動は、春と秋に（公社）三重県緑化推進協会により行われており、寄せられた募金は、森林整備や緑化などの「森づくり」や子どもたちの森林環境教育などの「人づくり」に活用されている。

春期「緑の募金」実施期間は4月1日から5月31日、「緑の羽根」着用期間は4月15日から5月14日となっているので、職場募金と「緑の羽根」着用のご協力をお願いしたい。

(質疑なし)

(全体を通じて)

☆渡邊副知事

年度初めにあたり知事から幹部職員に話があったとおり、明るく元気な県庁の実現は重要なテーマである。いろいろな意見を言い合える場作りも含め、皆さんが部内をまず盛り上げて欲しい。

また、県民の声のご指摘は重要であり、真摯に対応して欲しい。

☆鈴木知事

職員はよく見ており、上司が言うことより、やることを真似る方が多い。部下は自分達の鏡ぐらいに思って取り組んで欲しい。

☆稲垣副知事

元気を出して、挨拶から声をあげて明るく盛り上げて欲しい。